

下川商業高校の存続のため 学習支援をしては



(動画時間)
22分



おくざき ゆうこ
奥崎 裕子 議員

町長：職業科と普通科の違いを考慮したうえでの判断になる

質問

町は下川商業高校生徒確保のために、入学準備金などの経済的支援を行っています。生徒の学力アップにつながる学習支援などの新たな支援策について、どのように考えていますか。

教育長

学習支援は下川社会教育センターが役割を担っています。商業高校の生徒ではありませんが、2名が利用しています。

再質問

高校存続のための取り組みとして、足寄町では公設民営の受講料無料の塾を開講しています。中学の復習から難関大学受験対策まで個々のニーズに応じた学習ができ、無料です。これは足寄高校存続に向けて行った保護者へのアンケート調査で、地元高校に学力向上を望む回答が多かったからです。下川町でも経済的な支援だけでなく、学習支援も必要だと思いますがどのように考えていますか。

町長

下川は商業高校なので、商業の検定はできるだけ取っていき、基礎科目は基礎的な学力をつける過程です。普通科と商業科の勉強の中身が違うので、そこも考慮したうえでの判断になると思います。

除却予定の公共施設の有効活用をさらに進めるべき



(動画時間)
51分



さくらぎ まこと
桜木 誠 議員

町長：施設の有効利用などの観点からも広く周知し、積極的に譲渡を進める

その他の質問事項

▶ 民間団体などの活動を支援する方策について

質問

公共施設の再編・統廃合において、除却対象となった建物などの譲渡を促すことが、行財政運営の効率化や財源の確保、民間団体の自主的な活動の助長に繋がると考えますが、より一層積極的にPRしていくという考えはありますか。

町長

除却予定となった公共施設の譲渡については、利用者や施設がある公区などへの意向確認、担当課での利用の検討なども行い、利用・譲渡先が無い場合に広く周知しながら進めたいと思います。

再質問

除却対象となった、公共施設の有効利用の事例として近隣の中川町で除却予定の町営住宅(教員住宅)を企業と連携し、地域おこし協力隊制度を活用して宿泊施設に改修するという取り組みが進められています。このような先進事例を参考に取り組みを進める考えはありますか。

町長

新年度は、要望や需要があると感じているペット対応型住宅の調査なども進めますので、中川町のような事例を調査・研究し、本町の実情に合った課題解決を進めていきたいと考えています。